

3. 心の教育 (ドッグ介在教育)

いのちの大切さや他者への思いやりを伝える活動



♡ ドッグ介在教育とは

「こころ豊かな社会をつくるために」

ドッグセラピージャパンでは、子どもたちに犬を介して、「いのち」の大切さや他者への思いやり、自然環境に対する興味と配慮、生き物に関する知識を、伝える活動を行っています。



♡ 生物とふれあう機会が減少！

犬と子どもたちが、もの言わない犬とふれあうことにより、「命の尊さ」「弱者をいたわる心」「世話をすることによる責任感」「死の悲しみ」等を体験して、生命・倫理観を育む基礎を身につけ、他人に対する思いやり、優しい心を育む「心の教育」を行っています。

また、犬を飼うなら最後まで面倒をみる、(終生飼養) 責任感や命の大切さを知ってもらうために一人でも多くの子どもたちが犬の「ぬくもり」「いのち」を実感することができる環境を多く作る為の活動を行っています。



♡ 命の大切さを伝える



・小・中学生が命の大切さを知れる場

子どもたちに話を聞くと、犬から噛まれたことのある子は1/3位が噛まれていました。犬を生き物として認識や知識があれば、噛まれる事がなかったはずですが、犬は急に触られるとビックリしてしまうし、大きな声で叫ぶなどの行動も噛まれる原因になると伝えるところ、生徒たちは納得していました。今後も「犬との正しい付き合い方」や、「命の大切さ」を伝えていきます。

・黒崎商店街の活性化の一助

子どもたちが商店街にあるお店に職場体験しながらお仕事や買い物を体験するイベントに参加。

仕事を終えた子どもたちに、犬との正しいふれ合い方を伝えたところ上手に犬とふれ合うことで子どもたちは癒されていました。



・犬とふれ合った経験のない子どもたち

大きな声を出さない・優しく触るとの大事な約束事を伝えてふれ合いのスタート。いざふれ合うと犬をはじめて触る子の中には怖くて触れなかった子もいましたが、みんなが触っていると、徐々に犬に興味を持ち触れるようになっていきました。

犬とのふれあいの中でいろんな発見ができるように活動しております。



小竹町こども園先生より。

子どもたちのいつもとちがう表情や行動に驚きや、感心して、とてもいい経験になりました。ありがとうございました。